



旅のすすめ

会長 本間 弘



父母の会も五年目の年を迎え、この間、順調に発展を続け、学生の教育と福利の増進並びに大学と家庭との連絡

協調などの会の創設目的の実現のために文化講演会をはじめ、総会の開催などの事業を推進してきました。五代目の会長として微力ながら、他の役員

の協力を得て、これまでやってきましたが、より多くの方々からご参加いただけるように県内のみならず全国に散らばっている会員からのご要望をお聞きする機会がもう少し欲しかったと思っているところであり

ます。今年度も六月に総会を開催、その後メ

発行所
新潟産業大学
父母の会事務局
〒945-1393
新潟県柏崎市軽井川4730
☎(0257) 24-6402

父母の会総会

父母の会総会は回を重ねる毎に出席者が増え、今年は六月十四日、三百人近い熱心な会員を集めて開催された。

まず、本間会長が挨拶に立ち、日本経済の悪化による社会不安増大の中、子供の安定成長を考え、視野の広い社会人へと育てるためには、大学と父母の組織的な関係が重要であると訴え、今まで以上の活動と支援を仰いだ。

次に、荊木学長が挨拶に立ち、まず、父母の会会員の熱意と支援に対して敬意を表した。続いて、大学淘汰の時代を迎えた現在、更なる試練に向かって結束を固め、個性と特色ある大学として社会に貢献すべく、学園の充実と発展のために一層の努力を重ねるとの決意を語った。

この後、教職員と役員紹介に続いて平成九年度事業報告と収支決算及び監査報告、並びに平成十年度予算と事業計画の説明が行われ、承認された後、各部長から大学の現況報告が行われた。

まず教務部長から、今年度の経済学部一年生から新しいカリキュラムが始まり人文学部でも検討中であることが報告された。これにより、入学時に問題となる高校の授業と大学の講義とのギャップを取り払い、学年が上がるにつれ段階的に学力を高めることが出来るようにした事など、学習効果を上げる様々な工夫が紹介された。更に、履修科目や卒業単位の説明に続き、休学・退学者が増加傾向にある点に触れ、父母と学生とのコミュニ

ケーションの重要性を説いた。

次に、就職課長から昨年度の結果報告と本年度の状況説明がなされた。就職戦線は早期化・短期化しており、それに対応した各種指導が説明された。しかし、最終的には、本人が何を学んだか、何に打ち込んだか、自分のセールスポイントは何か、などが問われるとの見解を示した。サークルに加入していない学生は入会した方が有利なことも紹介された。

最後に学生部長が、交通事故と飲酒やアルバイトの関連性、万が一の事態に備えた保険への加入、人生の転機と成り得る留学の勧め、学業成績優秀者に対する学費軽減制度などを説明した。

この後は柏崎トルコ文化村に移動し、懇親会が開催された。これを楽しみに来られた方も多く、例年の倍近い二百人を越す会員で会場は立錐の余地もない程であった。こうして今年度の総会も盛況裏のうちに幕を閉じましたが、来年も多くの会員の出席を期待して止みません。



父母の会に感謝して

学長 荊木 久彌



平成九年六月の総会の折りに、私はご挨拶の中で、父母の会の誕生に関わる「新潟産業大学・長野県保護者会」のことに

触れさせて頂きました。この会は、その後、父母の会の初代会長になられた青木貞元様を中心に、発起人の方々の並々ならぬご努力により組織され、運営されて来たものであります。平成三年十二月一日に、長野市で行われた発会式当日のあの充実した時間の経過を、私は今もなお、昨日のことのように懐かしく思い起こすのであります。

長野県のこの会が、その後、全国規模の父母の会へと組織の拡大が図られ、会員皆様の深いご理解とご協力のもと、今日のこの姿にまで立派に育てあげて来られました。唯々、深く深く頭の下がる思いでございます。会員皆様の有り難いご支援に、心からお礼を申し上げますとともに、今後、貴重なご意見やご批判をお寄せ下さいますよう、お願い申し上げます。

すでに皆様ご存じのとおり、少子化による十八歳人口の激減振りは、さまざまな角度から、厳しい試練を大学に課しつつあります。この試練に耐えて生き残るためには、どの大学も思いきった改革を断行しなくてはなりません。私は、改革の重要な柱として、先ず、「教育重視」を掲げ、学生達に、学ぶことの喜びが分かる教育、達成感を味わえる教育を施すために、教員がそれぞれの立場において、教育に責任を持つ大学を目指したいと考えております。教職員一同、ご父母の皆様のご信頼に添える大学となすべく、懸命の努力をいたす覚悟でございます。何卒、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「教師冥利」に浸る時

学生部長 廣川 俊男



私にとって、文句なく嬉しいのは卒業生の「奮闘の様子」に接することである。

「僕たち結婚したんです・・・」「子供が生まれまして・・・」といった報告から、「肝炎についての情報を下さい・・・」といった海外勤務地からのEメールに至るまで、彼等が元気で頑張っているとのメッセージが届くたびに私自身が元氣付けられるのである。

本人が直に顔を見せてくれた時などは、どんなに忙しい時でも疲れが飛んでしまう。「是非、定期預金を・・・！」とか「保険に入って下さい・・・！」といった勧誘も、口では文句の一つも言いながら、腹の中では歓迎している自分を感じているのである。

先日、地元の酒造会社に就職し関東地区の営業マンとして活躍している二人の産大OB(日九年三月卒)と、お酒の会で同席した。その会社の酒の「ファンクラブ」のような会に、挨拶も兼ねて加わってくれたのだが、すぐに参加者に打解け人気者になった。酔い始めた人達の、似たような質問責めにも、笑顔で堂々と対応していた。

「素晴らしい教え子さん達ですね・・・」と何人もの同席者から囁かれた。舞い上がる程嬉しいものである。ドップリと「教師冥利」に浸りながら、更に美味しくお酒を戴いたことは言うまでもない。

文化講演会

第十一回紅葉祭最終日、舛添要一氏の講演会は超満員の聴衆を集めて行われた。

まず、日本は優れた文化と国民性を持ち、安全で豊かな社会を築き、国際貢献度も高い誇るべき国家であると述べた。

続いて日本経済の現状を分析し、政府や日銀の金融政策の失敗を指摘した。

更に、銀行が公的責任を忘れ、貸し渋りや資金回収で混乱に拍車をかけている点に触れ、経営を立て直し国際競争力をつけた優良な銀行にこそ公的資金を導入すべきであるとの見解を示した。

景気対策では交通インフラ等の公共投資、三十兆円の財政支出、最高税率、法人税率、消費税率の引き下げを求めた。

また、老後を保障する福祉目的税や、個々の自由な人生設計ができる年金制度の導入などの長期的な改革を提案した。

最後に、老人に優しく、勤労者には不安を取り除き意欲を与え、若者の関心と意識を高める政治の必要性を訴えた。

舛添氏は話の随所にユーモアを交え、サイン会では気軽に撮影にも応じる気さくな方で、役員との懇談会でも和やかに談笑されたのが印象的だった。

講師 舛添要一氏



支部総会について

近畿以西支部長 橋本 一男

恒例になっていきます父母の会を、今年も前年通り、企画し親睦を計る為、皆様に欠欠の葉書にて案内を差し上げて、十一月八日新大阪チサンホテルにて、無事終了いたしました。終りました今、振り返り反省した事がいくつも有りました。父母の会は、総ての人達にとつて公平であったのか、開催地によっては出席したくとも出席出来ず、欠席する事になってしまっています。もち廻る方法も有るが、出席していただかなくては次回の役員を、お願い出来ない事も有り、会の時間も四時間位しかないのです、個人的になかなか相談したり、アドバイスを受ける事も難しい。そこで事前に聞きたい事をアンケート方式で記入してもらい、会で発表してもらい参加出来なかつた方々には、後日解答するという方法も良いと思えます。

先生方や、事務局の方が折角来ていただいで、学習させていただいた内容は興味深く私達が一番関心の有る問題で、是非父母の会の人達にも内容を紹介する機会も得たいと思えます。

この三年間、総会に出席させていただく機会に恵まれて感謝しております。



就職活動は 口ケツトスタート

—— 就職課 ——

大不況しかも就職協定のない時代。大学生の就職活動は、三年生の二月頃から会社説明会でスタートし、五月に入社試験、六月に内定のピークを迎え、八月の初旬にはほぼ終息します。協定があった時代とは違い、秋の二次募集は極めて少なく、短期決戦です。

三年生の十二月になっても学内の就職ガイダンスに一度も出たことがない。当然、企業への資料請求も始めていない。四年生の四月になっても志望業種、志望企業が定まらない。これでは百メートル競争で、まわりが五十メートル先へ進んでから走り始めるようなものです。特に春休みが大事です。会社説明会に参加したり、会社訪問をしたり、積極的に行動しなければいけません。スキーに出かけたり、アルバイトに精を出している場合ではないのです。春休みが正念場です。また、就職はそれまでの学生生活の総

【別表①】新潟産業大学の就職内定状況(12月1日現在)

		合計	男子	女子
新潟産業大学全体の就職内定率		82.9%(▲6.2)	81.9%(▲9.0)	88.9%(+7.6)
経済学部	就職内定率	83.9%(▲5.7)	82.9%(▲7.9)	93.1%(+11.5)
	上場企業内定率	17.4%(▲0.3)	16.1%(+0.1)	28.0%(▲5.3)
人文学部	就職内定率	79.8%(▲7.7)	78.3%(▲13.2)	84.0%(+2.9)
	上場企業内定率	16.2%(▲1.7)	10.4%(▲1.8)	30.0%(+2.4)
留文学部	就職内定率	5人	2人	3人
	上場企業内定率	8人	3人	5人

注:()内は、前年同期比増減

【別表②】全国の就職内定状況(10月1日現在)

区分	全体	男子	女子
新潟産業大学	67.5%(▲10.8%)	66.1%(▲10.8%)	76.3%(+0.3%)
全国大学	67.5%(▲6.1%)	71.3%(▲5.1%)	59.2%(▲8.1%)
私立大文系のみ	66.9%(▲7.3%)	—	—

注:全国の状況は、文部省・労働省共同調査による。

決算です。四年生の夏に後悔しないように、勉学に励むとともに、大学の勉強以外ももうひとつ「打ち込んだ」と胸を張れるものを持つてください。学内で受けられる語学検定に挑戦してください。(今年受験者減少)。部活動、サークル活動にも打ち込んでください。コンピューターにも慣れて、最低限ワープロ、簡単な表計算、インターネット・電子メールの交換はできるようになってください。大学にも、電算実習室に約百二十台、就職課にも就職活動用のコンピューターが五台設置されています。ただし、情報通信系やソフトウェアの業界を志望する学生は個人で所有すべきです。そうでないと奇異に映る時代になりました。

十二月一日、ようやく本学の内定率は八〇%を超えました(別表)。文系大学の中では群を抜く高率ですが、出遅れ組をもっと減らせなかつたかと悔いの残る成績でした。来年度の採用については、すでに採用見送り、採用枠大幅削減をきめた企業が多数出ています。少数厳選採用です。志望業界の研究を怠っては就職はできません。また、来年の四月には改正男女雇用機会均等法が大嵐の中、船出します。女子を採用できない会社も「平等」のポーズを取らざるを得ません。実情を知らない女子の就職活動は、六割以上ムダ足となります。田舎では女子を探れる会社は無いに等しく、自宅勤務条件は足かせです。本学の女子学生は、最初の内定をもらうまで、選り好みせず多くの企業に挑戦します。だから強い。酷寒の年、大学も全力で支援します。

最近の カリキュラムについて

—— 教務課 ——

年が明けた一月十八日(月)から二十九日(金)までの間、お正月気分もそこに、いよいよ学年末試験が始まります。一年間の集大成である試験ですから、学生も風邪などひかぬよう健康管理を充分にし、ベストを尽くしてもらいたいものです。

定期試験を受験するにあたり、次のようないくつかのルールがあります。①四月に履修登録がしてある授業科目であること、②授業科目の出席時間が原則として全授業時間数の三分の二以上であること、③学費が完納されていること、④担当教員が指定する条件を満たしていること、などです。これらの条件を満たしてはじめて定期試験が受験できるわけです。

特に四年生は、卒業に係る重要な試験です。例年就職が内定しているにもかかわらず、卒業に必要な単位が取得できずに卒業延期となる学生がいます。何とか無事卒業できるよう最後の試験に精一杯挑んで欲しいと思います。

さて、文部省が定める「大学設置基準」という省令があり、大学はそのルールに則り大学自身をより良いものにしていく努力が義務づけられているわけですが、平成三年七月にこの基準が改正され、ある程度大学側が多様な形態の教育を行えるよう大綱化されました。その代わり第二条に「自己評価等」という条文があるように、自分(大学)で自分(大学)を評価・点検することが義務づけられました。この評価・点検は、大学が行っていく教育活動・研究活動・学生援助活動・経営

管理などあらゆる分野について、色々な角度から見つめ、向上していくよう鋭意努力しなければならぬというものです。

本学は、その主旨を充分理解し、本学でなければできない教育を行っていくべく、設置基準が改正された翌平成四年四月から、まず経済学部のカリキュラムを変更しました。それが現二年生から四年生において実施しているものであります。それから六年が経過しました。その間社会情勢も変化し、学生のニーズも多様化してきていることから、それらに対応するためにこれまでのカリキュラムをベースに、今年度更なる改革を行いました。その骨子は、「経済学」というものの導入部分を意識し、また学生個々の卒業後の進路を見据え、自由度の中にもある程度履修科目を誘導化した段階的かつ体系的なものとしたことなどです。一方、人文学部においては、開設から四年間は文部省の監督下にあつたため、独自の改革はできませんでしたが、昨年度よりカリキュラム改革を検討し、平成十一年度より実施する運びとなりました。中国・ロシア・韓国の語学、事情、政治経済及び文化などに触れ各国の専門性を高め、更に、環日本海圏の中の「日本」と各国の比較文化を探究していきます。

また、来年度より経済学部学生が人文学部の、人文学部学生が経済学部の開講科目の中から大学が指定した科目に関して受講し単位を取得できる、学部間の「単位認定制度」を導入する予定です。これにより履修可能な科目の幅が広がり、学習の機会が多くなることとなります。

今後も、現状認識の上になつて、カリキュラム内容をはじめとする様々な教育活動に対し見直し、実行に移していきたいと思っております。

第十二回学園祭「紅葉祭」



今年の紅葉祭は、「完熟宣言」をテーマに十月三十一日〜十一月三日の日程で盛大に開催されました。

「紅葉祭は雨」のジンクスは残念ながら今年も的中してしまいました。学生達によるイベントや模擬店は勿論、一般市民との接点となるフリーマーケットやアーティストを招いてのコンサート、今年初めて柏崎市との共催となった国際スピーチコンテスト、政治学者舩添要一氏をお招きした父母の会主催の講演会等、それらが混然一体となつて「完熟」の雰囲気醸し出していました。

最近の学園祭は単なるお祭り騒ぎでしかないとして、その存在意義が問われている面がありますが、新潟産業大学紅葉祭の中で十二年の年月をかけて熟成されたものは、「地域との交流」「文化的啓蒙の発信」そして何より「学生自らの力で社会との接点を探ること」ではないかと考えます。

最終日、後片づけが終わって閑散としたキャンパスで、先ほどまでの活気の余韻に浸ることが毎年の楽しみになっています。開催に合わせて中庭に設置されたイルミネーションとともに新潟県の長い冬の始まりを感じながら……。

短期留学に関して

留学というと一大事のように考えられがちですが、情報の発達した今日では海外旅行の延長長くらの感覚で実行出来るようです。参加者は、入学時から留学を考えていた者と、募集告知を見てから思い立った者の二通りに別れており、その数は年々増加しています。

ただし、言語も文化も異なる国での生活は、様々なショックを与え、例外なく彼らを一回りも二回りも大きくします。そして、その後再度私費留学したり、留学した国で働ける会社に就職する者が続出する程影響を受けて帰って参ります。

本学のキャンパスに限りはありますが、中国・米国・ロシアなど、世界各国のキャンパスへの道は大きく開けています。学生の中には現状に疑問を抱き、打破したいと考えている者も多いことでしょう。そんな時は、彼らの背中を軽く押してあげて下さい。語学力は問題ではありません。好奇心と柔軟な発想に溢れた若者なら、必ず何かを掴める筈です。

きっかけは何であれ、学生時代にしか出来ないその体験が、人生の分岐点となるかも知れません。



平成10年度 公認部活動成績一覧表 (ブロック大会以上)

平成10年4月1日〜11月30日まで

Table with columns: 公認部名, 大会名, 部門・種目, 大会参加者・表彰者名(学年), 成績. It lists various sports teams and their achievements across different categories like table tennis, volleyball, water polo, etc.

雑感

幹事長 今泉武夫

平成10年度の活動も数ヶ月となり支部総会が開催されている事と思います。五月に定期総会を開催し多くの会員の御参加を戴きました。本年は、学外で懇親会を持ち、変わった雰囲気の中で会員相互の交流が出来たと思えます。

学園祭に平行して開催した文化講演会も舩添要一氏を招き盛会裏に終了致しました。行事を通じて幹事長として貴重な体験を学びとる事が出来ました事を各位に御礼申し上げます。